

JALが取り組む
新しい空への挑戦を
皆さまにお伝えします

『TEDxHaneda(2015)』にコアパートナーとして参加

JALは各方面でチャレンジされる方々を サポートしています！



昨年6月、JALは「チャレンジJAL宣言」を行い、
新たな商品・サービスを毎月導入することに加え、
さまざまなチャレンジをされる方々をサポートするお約束をしました。
その取り組みの一環として、
今年7月18日に『TEDxHaneda(2015)』にコアパートナーとして参加。
今回はイベント当日の様子と、今後の動向についてお伝えします。

イベント当日、14名のスピーカー（登壇者）と約200名のゲストが集う『TIAT SKY HALL』（羽田空港国際線旅客ターミナル4階）。写真は、折り紙ヒコーキ協会会長・戸田拓夫さん。

新たなTEDxイベントの運営をサポート

世界的なカンファレンスイベントTED(※)。そして、TEDの精神である「広める価値のあるアイデアを共有する」という目的のため、世界各地で発足しているコミュニティがTEDxです。

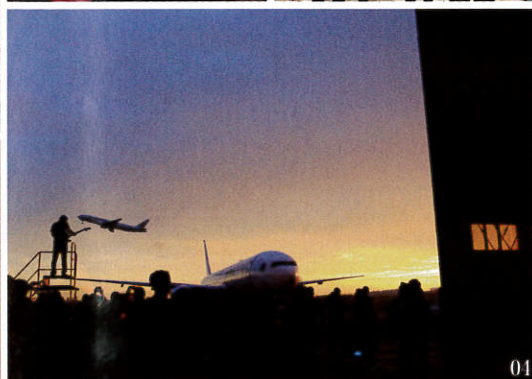
JALは昨年6月以降、各種のアントレプレナーイベントや、ビジネスコンテストへの協賛などの取り組みを行ってきました。そして今回、多様なフィールドでアントレプレナーシップを発揮して活動する方々が集うTEDxのコンセプトに共感し、新たに羽田空港で行われた『TEDxHaneda(2015)』にコアパートナーとして参加しました。

企画から担当した古谷公文さん(商品・サービス企画本部)はこう振り返ります。

「JALが参加するにあたっては、当社に親和性の高い場所で行いたいと空港を会場に選びましたが、各種の制約事項があるため、難題も多々ありました。しかし、来場された皆さまに当社の飛行機を身近に感じながら、特別な時間を過ごしていただきたい。その一心で、これまでにならぬ会場をご用意しました」



01. スピーカーとして登壇された、宇宙飛行士の山崎直子さん。02.03. ランチは客室乗務員たちにより、JALの機内食を調製するJRC特製のオムライス弁当(山田チカラシェフ監修)が配られました。04. レセプション会場。05. あいさつをする植木義晴社長。



当日イベントに集まった参加者の方からは「TEDxのイベントには数回参加したが、今回は会場が初の空港なので特別感がある」「スピーカーも素晴らしかったが、飛行機を間近で見られてうれしい」「JALのイメージが変わった」といった声が上がっていました。

変革を恐れぬ勇気を持ち前進を続けたい

実は今回のイベント開催にこぎ着けるまでには約2年かかったと、古谷さんは話を続けます。

「企画段階では社内の理解者が少なく、徐々に各部署で仲間を増やしていきました。同時に実現にあたっては、社外の皆さまの力によるところが大きい。何か新しいことに挑戦するには、社外の方々ともオープンに協業していくことが不可欠だと、心から実感します。そうしたご協力をいただくためにも、今後もアントレプレナーシップをもって、さまざまなチャレンジをされている方々をサポートしていきたいと思えます」

変革を恐れることなく、多くの方々に勇気をいただきながら、ともに前へ進みたい。そんな思いを胸に、JALの挑戦は続きます。

※ TED (Technology, Entertainment, Design)